

島根県教育庁

埋蔵文化財調査センター年報20

平成23年度

2012年3月

島根県教育委員会



1. 庵寺古墳群（大田市）全景



2. 栗目Ⅰ遺跡（雲南市）古代の製鉄炉



3. 下澤遺跡（出雲市） 下層水田遺構



4. 西川津遺跡（松江市） 弥生時代前期の木製品出土状況

目 次

埋蔵文化財調査センターの概要	1
I 平成 23 年度の調査体制	2
1. 組 織	2
2. 職員一覧	2
II 埋蔵文化財活用事業	4
1. 埋蔵文化財調査センター講演会	4
2. 現地説明会	4
3. 文化財講座『いにしえ倶楽部』	4
4. 心に残る文化財子ども塾	5
5. 「ふるさと島根の遺物」貸出事業	5
6. 所長講座	6
7. 平成 23 年度 教員のための文化財活用講座	6
8. 新発見！とっとり・しまね発掘速報展	6
9. その他イベントへの参加	6
10. 埋蔵文化財調査センター見学	7
11. 職場体験	7
12. 講師	7
13. 資料の貸出・調査等	8
(1) 資料調査	8
(2) 写真資料等	9
(3) 資料貸出	10
(4) その他	11
(5) 施設利用	11
(6) 埋蔵文化財調査センターホームページ閲覧数	11
III 研修・調査指導事業	12
1. 研 究	12
2. 埋蔵文化財基礎研修	12
3. 埋蔵文化財専門研修	12
4. 市町村調査指導	13
IV 会議参加	13
V 発掘調査事業	14
1. 一般国道 9 号（朝山大田道路）改築工事に伴う発掘調査	15
2. 一般国道 9 号（仁摩温泉津道路）改築工事に伴う発掘調査	17
3. 中国横断道路松江尾道線新設工事に伴う発掘調査	18
4. 松江島根線道路事業に伴う発掘調査	20
5. 国道 432 号道路改築事業（大庭バイパス）に伴う発掘調査	21
6. 国道 431 号道路改築事業（東林木バイパス）に伴う発掘調査	22

7. 学術調査等	23
(1) 史跡出雲国府跡	23
(2) 考古資料基礎調査研究（墓制調査事業）	24
(3) 保存処理	25
(4) 試掘確認調査・分布調査	25
VI 県内発掘調査一覧	26
VII 刊行物等	30
1. 年報	30
2. ドキ土器まいぶん	30
3. 発掘調査報告書	30
4. 発掘だより	30

埋蔵文化財調査センターの概要

埋蔵文化財調査センターの設置目的

島根県には、多数の青銅器が発見され全国的に注目された荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡をはじめ、大型の四隅突出型墳丘墓として著名な西谷3号墓、全国ではほぼ唯一完本で伝わる『出雲国風土記』、世界文化遺産として登録された石見銀山遺跡など貴重な文化遺産が数多く存在しています。

その一方で、県内では1980年代から道路建設やダム建設などの各種開発事業が急増し、開発事業と埋蔵文化財保護との調整が課題となってきました。そこで、これらの課題に対処するとともに、県内の埋蔵文化財を調査・研究・保護し、調査成果の普及啓発を進めていくことを目的として、1992年（平成4年）に埋蔵文化財調査センターが設置されました。

埋蔵文化財調査センターの業務

- 埋蔵文化財の調査及び研究
- 出土遺物の分析（軟X線検査装置・赤外線映像撮影装置・実体顕微鏡など）
- 出土遺物の保存処理（木製品・金属製品）
- 考古資料の保存・収蔵・管理・活用
- 埋蔵文化財に関する研修（専門研修・埋蔵文化財基礎研修）
- 調査成果の普及活用（心に残る文化財子ども塾・文化財講座・講演会など）

設立年月日 平成4年4月1日

所在地 〒690-0131 島根県松江市打出町33番地 TEL 0852-36-8608 FAX 0852-36-8025

Eメールアドレス maibun@pref.shimane.lg.jp

ホームページアドレス <http://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/>

施設と規模

本館棟	展示室	175㎡	収蔵庫棟	収蔵庫	1,448㎡		
	研修室	155㎡		機材庫・車庫	172㎡		
	所長室	25㎡		小計		1,620㎡	
	事務室・調査研究室	315㎡	いにしえ学習館棟	体験学習室	95㎡		
	図書室	73㎡		整理復元室	576㎡		
	資料保管室	75㎡		木器保管展示室	197㎡		
	特別収蔵室	122㎡		仮収蔵室（兼写場）	86㎡		
	写場	33㎡		収蔵庫	2,463㎡		
	整理復元室	429㎡		その他	279㎡		
	理化学分析室	35㎡		小計		3,696㎡	
	鉄器処理室	35㎡		合計			7,835㎡
	木器処理室	35㎡					
	水洗室	70㎡					
その他	942㎡						
小計		2,519㎡					

I 平成 23 年度の調査体制

1. 組 織

島根県埋蔵文化財調査センター

所長	総務 G 課長	総務 G	予算経理・契約事務・施設管理
	管理 G 課長	管理 G	調査事業の調整・発掘調査の技術的統括・発掘調査の安全管理・試掘確認調査・分布調査・普及活用・資料管理・研修・講演会・年報等発刊
	調査第 1 G 課長	調査第 1 G	調査事業（風土記の丘地内発掘調査事業、中国横断道松江尾道線建設事業、松江島根線改良事業、大橋川改修事業）
	調査第 2 G 課長	調査第 2 G	調査事業（国道 9 号（朝山大田道路・多伎朝山道路・仁摩温泉津道路）改築事業）
	調査第 3 G 課長	調査第 3 G	調査事業（国道 431 号（東林木バイパス）改築事業、国道 432 号（大庭バイパス）改築事業、県道多伎江南出雲線建設事業、県道矢尾今市線改良事業）

2. 職 員 一 覧

職 名	氏 名
所 長	川 原 和 人
総務グループ	
総務 G 課長	三 島 伸
主幹	上 野 幸 美 来 海 弘 志 片 桐 浩 孝
嘱託 事務補助員	浜 田 佐 知 子 松 本 明 (平成23年5月まで) 富 田 美 那 子
管理グループ	
管理 G 課長	丹 羽 野 裕
企画員	池 淵 俊 一
文化財保護主任	勝 部 智 明
(兼)学芸員	澤 田 正 明
調査補助員	柴 崎 晶 子

職 名	氏 名
調査第 1 グループ	
調査第 1 G 課長	内 田 律 雄
企画員	宮 本 正 保 原 田 敏 照
(兼)文化財保護主任	仙 田 浩 志
主事	稲 田 陽 介
調査補助員	阿 部 賢 治 岩 本 真 実 三 原 知 恵 人 見 麻 生 是 田 和 美
調査第 2 グループ	
調査第 2 G 課長	鳥 谷 芳 雄
企画員	深 田 浩
文化財保護主任	是 田 敦
(兼)文化財保護主任	神 柱 靖 彦 清 水 裕 司
(兼)主事	錦 織 幸 弘 山 根 伸 一 武 田 尚 志

職 名	氏 名
調査第2グループ	
調査補助員	渡 辺 聡 藤 原 嘉 弘 糸 川 寿 幸
調査第3グループ	
調査第3 G 課長	熱 田 貴 保
主幹	大 庭 俊 次
企画員	中 川 寧
文化財保護主任	伊 藤 智
調査補助員	東 山 信 治 松 山 智 弘 田 中 玲 子 井 谷 朋 子 山 本 遥 (平成23年9月まで) 福 田 沙 織 福 田 市 子 飯 塚 由 起

Ⅱ 埋蔵文化財活用事業

島根県埋蔵文化財調査センターでは、埋蔵文化財の保護を円滑に行うために調査成果の公開、県民や学校教育現場などへの普及活用を行っている。

1. 埋蔵文化財調査センター講演会

『島根県教育庁埋蔵文化財調査センター開設 20 周年記念講演会 出雲神話を考古学する－古代北つ海（日本海）の交流を考える－』

日 時：平成23年12月4日（日）

会 場：松江市市民活動センター交流ホール（松江市白湯本町）

参加者：126名

基調講演：「古代における北部九州と出雲との交流」小田富士雄（福岡大学名誉教授）

「古代における北陸と出雲との交流」坂井秀弥（奈良大学教授）

シンポジウム：「古代北つ海の交流を考える」

パネラーは上記2名に加え川原和人、司会は内田律雄

2. 現地説明会

発掘調査の成果を地元へ公開する。（※平成23年1月4日～12月28日までに実施したもの）

遺 跡 名	開 催 日	場 所	参 加 者	備 考
金山古墳	平成23年5月14日	益田市久城町	約50名	
金山古墳	平成23年6月26日	益田市久城会館	57名	発掘報告会
下澤遺跡	平成23年9月17日	出雲市矢尾町	約50名	
史跡出雲国府跡	平成23年9月17日	松江市大草町	19名	
西川津遺跡	平成23年11月13日	松江市西川津町	103名	
市井深田遺跡	平成23年11月23日	大田市久手町	約120名	
庵寺古墳群	平成23年11月8日	大田市仁摩町	約30名	仁摩公民館主催
	平成23年11月12日		約20名	大国まちづくりセンター主催
	平成23年12月10日		約100名	遺物展示会
合 計				約550名

3. 文化財講座『いにしえ倶楽部』

埋蔵文化財調査センターで保管している出土遺物などを活用した講座を行い、文化財をより身近に感じてもらうことを目的とした講座を開催する。

	会 場	内 容	参加者	実施日	備 考
第54回『古事記巡礼；黄泉の国・パワースポット探訪』	出雲市韓竈神社・猪目洞窟遺跡ほか	遺跡・神社探訪のバスツアー	16名	7月10日	定員16名
第55回『親子で発掘体験！』	大田市仁摩町庵寺古墳群	親子による発掘体験と遺跡解説	53名	8月7日	
第56回『神話の釣りにチャレンジ！』	松江市佐太公民館	鹿角釣針の製作と釣り体験・古代料理	28名	10月2日	
第57回『なろう！古代の鍛冶職人』	古墳の丘古曾志公園野外ステージ	五寸釘を材料とした古代鍛冶体験	27名	10月22日	

4. 心に残る文化財子ども塾

県内の小中学校の児童生徒を対象に、埋蔵文化財を活用した体験的教育活動を行う。

学 校 名	学年	人数(名)	実 施 日	体 験 活 動
大 田 市 立 志 学 小 学 校	5・6	9	5月10日	勾玉作り
浜 田 市 長 浜 小 学 校	6	45	5月13日	勾玉作り
雲 南 市 立 加 茂 小 学 校	6	63	5月16日	プラ鐸作り、遺跡見学
隠岐の島町立西郷南中学校	中2	36	5月17日	和同開珎作り、火起こし
隠岐の島町立磯小学校	6	15	5月18日	勾玉作り
雲 南 市 立 阿 用 小 学 校	6	10	5月19日	土器作り
斐 川 町 立 西 野 小 学 校	6	123	5月25日	大仏パズル
奥出雲町立布勢小学校	6	14	6月1日	火起こし、古代食
松江市立美保関小学校	6	42	6月1日	火起こし、古代食
飯南町立赤名小学校	6	14	6月6日	土器作り
津和野町立青原小学校	5・6	12	6月7日	古代食
出雲市立岐久小学校	6	22	6月8日	火起こし、古代食
東出雲町立揖屋小学校	6	69	6月8日	火起こし
松江市立八束小学校(八束学園)	6	35	6月13日	勾玉作り
斐川町立斐川西中学校	中2	175	6月17日	プラ鐸、石膏銅鐸実演
川本町立川本中学校	中1	27	6月17日	遺跡見学
浜田市立波佐小学校	5・6	12	6月24日	古代食
安来市立安来第二中学校	中1	49	7月1日	火起こし
江津市立高角小学校	6	46	7月5日	プラ鐸作り
雲 南 市 立 海 潮 小 学 校	6	18	7月5日	勾玉作り、古代衣装
大 田 市 立 鳥 井 小 学 校	5・6	19	7月5日	大仏パズル
浜田市立上府小学校	6	10	7月7日	遺跡見学
松江市立鹿島東小学校	6	19	9月28日	火起こし、土器作り
松江市立朝酌小学校	特	3	10月7日	火起こし、勾玉作り
益田市立吉田小学校	特	12	10月12日	土器作り
浜田市立美川小学校	6	17	10月18日	火起こし、ドングリクッキー
雲 南 市 立 中 野 小 学 校	5・6	5	11月17日	勾玉作り、火起こし
合 計			27校 921人	

5. 「ふるさと島根の遺物」貸出事業

埋蔵文化財調査センターが保管している土器や石器を学校等へ貸出し、地域の歴史や文化財を学ぶための教材として活用している。今年度は1件の貸出希望があった。

6. 所長講座

今年度から新たに実施した事業で、一般の歴史愛好家を対象として、所長をはじめとする埋蔵文化財調査センター職員が、考古学や古代史、文化財に関する話題を取り上げる連続講座を実施した。

(※平成24年1月まで実施したもの)

実施日	タイトル	講師	参加人数
5月29日	漆がはぐくんだ日本海交易	川原 和人	41名
6月19日	四隅突出型墳丘墓は何故あんな形をしているのか	川原 和人	33名
7月17日	出雲平野における「くに」の成立	川原 和人	38名
8月21日	大国主命と出雲大社の成立	内田 律雄	53名
9月18日	出雲の古墳時代前期の東西	川原 和人	35名
10月16日	前期・中期旧石器論争と出雲の瑪瑙	丹羽野 裕	33名
11月20日	大念寺古墳の驚くべき築造方法	川原 和人	35名
12月18日	古代人の食文化から学ぶべきこと	川原 和人	40名
1月15日	古代幹線道路の移動と出雲東部の古墳	丹羽野 裕	60名

7. 平成23年度 教員のための文化財活用講座

県内の学校教員向けに、地域の文化財や郷土の歴史資料などを活用した学習活動についての研修を行い、小中学校での教育活動における、身近な地域に根ざした学習の創造に資するため開催した。

開催日：平成23年8月18日(木) 会場：埋蔵文化財調査センター 参加者：11名
講師：埋蔵文化財調査センター職員ほか
講義：「心に残る文化財子供塾」事業の紹介、「授業で使うワークシート」の紹介、古代体験活動の実技講座（勾玉、和同開珎、古代食、プラ銅鐸）

8. 『新発見！とっとりしまね発掘速報展』

山陰両県魅力向上作戦会議で行う事業のうち、文化財関連企画として平成16年度から実施している。今年度の発掘調査で発見された資料など、両県における最新の調査成果を一堂に集め、両県民にいち早く公開する。当時の人々の生活へ思いをはせる場を提供することで、山陰の歴史への理解を深めるとともに、郷土への愛着・誇りを感じてもらうため開催した。

開催日：平成24年1月7日～平成24年1月27日 場所：倉吉博物館
開催日：平成24年2月4日～平成24年3月4日 場所：和鋼博物館 第2展示室
主催 鳥取県埋蔵文化財センター・島根県教育庁埋蔵文化財調査センター
共催 安来市教育委員会ほか
展示内容 西川津遺跡（弥生時代）、庵寺古墳群（古墳時代）、栗目I遺跡（古代）ほか
平成24年1月7日、2月4日 展示解説、調査成果報告会

9. その他

①サンレイクフェスティバル2011に参加 平成23年10月16日
会場：島根県立青少年の家「サン・レイク」 内容：勾玉作り

②「授産センターよつばふれあいフェスティバル」に協賛し参加 平成23年10月29日(土)

会場：授産センターよつば 内容：勾玉作り

10. 埋蔵文化財調査センター見学

展示室や整理作業を見学する。(※平成23年1月4日～12月28日までに申請のあったもの)

月 日	見 学 者 (団体)	時 間	人 数	見 学	体 験
4月9日	出雲市立北浜小学校6年生	60分	12名	○	
6月1日	出雲市立伊野小学校6年生	170分	14名	○	○
9月9日	出雲市立久多美小学校	60分	22名	○	
9月9日	くにびき学園東部校社会文化科	60分	28名	○	
11月17日	出雲市高松コミュニティセンター	60分	30名	○	
合 計				106名	

11. 職場体験

就業体験を行うことで、生徒の労働への態度を養うとともに、自己の適性について理解を深める。

期 間	学 校 名	内 容	人 数
9月28日～30日	松江市立湖北中学校	発掘調査・遺物整理(西川津遺跡・センター)	2名

12. 講師 (※平成23年1月4日～12月28日まで申請のあったもの)

月 日	内 容	場 所	依 頼 者	講 師
3月19日	鳥根県における古代須恵器の様相	鳥取市青谷町総合支所	鳥取県埋蔵文化財センター	丹羽野 裕
4月16日	加茂岩倉銅鐸の製作地	荒神谷博物館	荒神谷博物館	内田 律雄
4月29日	世界遺産石見銀山と石州銀	東京都中央区 ロイヤルパークホテル	日本貨幣協会	鳥谷 芳雄
6月6日	出雲学フォーラム ヤマタノオロチ斐伊川説	仁多郡奥出雲町 カルチャープラザ	NPO 法人 出雲学研究所	内田 律雄
6月11日	六十六部巡礼と意宇平野周辺	八雲立つ風土記の丘	八雲立つ風土記の丘	鳥谷 芳雄
6月17日	体験学習支援	鳥根大学附属中学校	鳥根大学附属中学校	錦織 幸弘 池淵 俊一
7月2日	親子古代体験活動	松江市立古志原小学校	松江市立古志原小学校	錦織 幸弘 池淵 俊一
7月5日	親子古代体験活動	松江市立内中原小学校	松江市立内中原小学校	仙田 浩志 池淵 俊一
7月23日	出雲神話ガイド倶楽部 養成講座	松江市出雲学研究所	NPO 法人 出雲学研究所	内田 律雄
8月2日	奥出雲の歴史にみる食文化	奥出雲町立布勢小学校	仁多郡教育研究会食 育部	川原 和人 仙田 浩志
8月19日	出雲が最も出雲らしかった時	松江市千鳥町 水天閣	風土記を語る会	川原 和人
9月24日	出雲国出雲郡の医者とその生活	荒神谷博物館	荒神谷博物館	阿部 賢治
9月25日	宍道湖・中海の形成と人びとの暮らし	松江市道の駅 秋鹿なぎさ公園	鳥根県環境政策課長	丹羽野 裕

月 日	内 容	場 所	依 頼 者	講 師
10月4日	親子古代体験活動	松江市立恵曇小学校	松江市立恵曇小学校	錦織 幸弘 池淵 俊一
10月19日	神社の起源と出雲	出雲市大社町	DSAQUA 工房	内田 律雄
10月29日	邪馬台国時代の出雲	佐賀県吉野ヶ里歴史公園	吉野ヶ里公園管理センター	川原 和人
11月11日	周布地区の歴史について	浜田市周布公民館	木曜会	川原 和人
11月12日	出雲型子持壺の謎にせまる	八雲立つ風土記の丘展示学習館	八雲立つ風土記の丘	池淵 俊一
11月13日	バスツアー対応	西川津遺跡ほか	島根県環境政策課長	丹羽野 裕
11月27日 ～28日	講演会司会 史跡見学講師	出雲市大社町うらら館 日御碕神社	マリンプルー	内田 律雄
11月27日	なぜ出雲は神の国と言われるのか	松江市古志原公民館	島根県退職者会松江支部	川原 和人

13. 資料の貸出・調査等

(1) 資料調査（※平成23年1月4日から平成23年12月28日までに申請があったもの）

研究や展示借用のための事前調査など、資料の実見に関して応じている。

資 料	点数	申 請 者	月 日
板屋Ⅲ遺跡板状鉄斧	2	福岡大学学生	1月21日
塚山古墳力士埴輪ほか	5	古代出雲博物館学芸員	1月27日
北原本郷遺跡縄文土器ほか	1,369	首都大学東京院生	1月27日～28日
堂床遺跡玉作関係遺物	30	九州国立博物館職員	2月9日
荒神谷遺跡銅剣模倣品	1	古代文化センター研究職員	2月9日～16日
板屋Ⅲ遺跡縄文土器ほか	446	古代文化センター研究職員	2月24日
連行遺跡圭頭大刀	1	文化庁職員	2月25日
西川津遺跡石器	319	岩手大学教授	3月10日
五丁遺跡縄文土器	139	古代文化センター研究職員	3月11日～12日
荒神谷遺跡銅剣模倣品	8	古代出雲歴史博物館学芸員	3月14日～3月31日
山持遺跡楽浪土器ほか	5	古代出雲歴史博物館学芸員	3月16日～3月31日
山持遺跡舟形木製品	7	荒神谷博物館学芸員	3月17日
家の後Ⅰ遺跡縄文土器	217	古代文化センター研究職員	3月18日
大志戸Ⅱ銅跡製鉄関連遺物	221	九州大学学生	3月28日
獅子谷遺跡羽口ほか	8	古代文化センター研究職員	4月26日
新宮党館跡陶磁器	4	古代文化センター研究職員	4月30日～9月30日
市場遺跡細石刃核ほか	46	別府大学教授	5月12日
荒神谷遺跡銅剣模倣品	16	古代出雲博物館学芸員	5月26日～5月31日
原田遺跡角錐状石器ほか	8	広島県教育委員会事務局文化財課職員	6月6日
獅子谷遺跡小割鉄ほか	3	古代文化センター研究職員	6月10日
門遺跡縄文土器ほか	243	古代文化センター研究職員	6月11日～12日
貝谷遺跡縄文土器	737	京都大学文化財総合研究センター職員	6月13日
青木遺跡銅鐸飾耳	1	岡山大学学生	6月20日
西川津遺跡石包丁ほか	80	八雲立つ風土記の丘学芸員	6月20日
布田遺跡弥生土器ほか	8	神奈川県在住研究者	7月1日
原田遺跡土器ほか	144	吉野ヶ里歴史公園職員	7月7日
史跡出雲国府跡漆紙文書	3	古代出雲博物館学芸員	7月11日
史跡出雲国府跡漆紙文書	4	古代出雲博物館学芸員	7月14日～29日
西川津遺跡木器	2	古代文化センター研究職員	7月19日
西川津遺跡玉類ほか	91	北九州市芸術文化振興財団職員	7月29日
古曾志大谷1号墳円筒埴輪ほか	77	古代文化センター研究職員	8月1日～4日
山代二子塚古墳須恵器	107	国学院大学伝統文化リサーチセンター職員	8月2日
中野清水遺跡弥生土器ほか	31	大阪大学院生	8月9日～10日
西川津遺跡木器	13	国立民族学博物館研究員	8月11日
西川津遺跡石器	1,083	島根大学学生	8月29日～31日
平ラⅡ遺跡玉未成品ほか	344	島根大学学生	9月2日～30日
岩塚Ⅱ遺跡石器	250	島根大学学生	9月6日～7日
西川津遺跡石器	2	愛媛大学学生	9月7日

資 料	点数	申 請 者	月 日
神原Ⅰ・Ⅱ遺跡縄文土器ほか	1,280	古代文化センター研究職員	9月8日
鳥ヶ崎採集資料	950	同志社大学院生	9月13日～15日
仁右エ門山遺跡陶磁器	152	浜田市教育委員会職員	9月12日
高広遺跡須恵器ほか	132	出雲市文化財課職員	9月30日
大角山遺跡玉類	63	高知県教育員会職員	9月20日
史跡出雲国府跡玉作砥石	28	玉作資料館職員	9月16日
姫原西遺跡木製品ほか	20	京都大学院生	10月3日～4日
板屋Ⅲ遺跡縄文土器ほか	200	早稲田大学研究員	10月14日
米坂古墳群石造物	60	石造物研究会	10月29日
大東高校グラウンド遺跡勾玉未成品ほか	40	島根大学学生	11月1日～15日
青木遺跡鉄器	4	古代出雲博物館学芸員	11月4日
島田遺跡1号墳人物埴輪	1	古代文化センター研究職員	11月11日～15日
板屋Ⅲ遺跡石器ほか	23	島根大学学生	11月15日～17日
神田遺跡須恵器ほか	11	米子市在住研究者	11月10日
下山遺跡石器ほか	多数	島根大学学生	12月1日～9日
臼コクリ遺跡須恵器ほか	30	和鋼博物館学芸員	12月6日
西川津遺跡石器	165	愛媛県在住研究者	12月19日～22日
西川津遺跡玉類ほか	750	（財）鳥取県教育文化財団調査室職員	12月19日
サルガ鼻洞窟遺跡縄文土器ほか	18	古代文化センター研究職員	1月12日
郷路橋遺跡縄文土器ほか	353	古代文化センター研究職員	1月20日～23日

(2) 写真資料等（※平成23年1月4日から平成23年12月28日までに申請があったもの）単行本や雑誌、展示図録などの写真の掲載に応じている。

資 料 名	点数	貸 出 先 等	使 用 目 的	貸出期間
高浜Ⅰ遺跡将棋盤ほか	5	（株）新人物往来社	雑誌掲載	
西川津遺跡鳥形木製品	1	河出書房新社	書籍掲載	
岡田山1号墳銘文大刀ほか	8	大阪府立近つ飛鳥博物館長	特別展示	1月28日
高浜Ⅰ遺跡将棋盤・駒	1	（株）毎日コミュニケーションズ	雑誌掲載	2月1日
西川津遺跡ガラスJ字勾玉ほか	4	（株）ジャパン通信情報センター	雑誌掲載	2月1日
中野美保遺跡2号墓ほか	7	鯖江市教育委員会	フォーラム	2月8日
荒神谷遺跡銅剣・銅矛	1	（株）育鵬社	教科書掲載	2月21日
三田谷Ⅰ遺跡丸木舟	1	（株）ジーニアスエデュケーション	学習教材	2月21日
高浜Ⅰ遺跡将棋盤・駒	1	NPO 法人出雲産業支援センター	雑誌掲載	3月22日
西川津遺跡骨角器	3	鳥取県埋蔵文化財センター	報告書掲載	掲載許可
原田遺跡石皿ほか	6	益田市教育委員会	講演会	掲載許可
荒神谷遺跡銅剣出土状況	1	（株）文芸社	書籍掲載	2月8日
山代郷北新造院山陰系鷗尾	1	但馬国府・国分寺館	特別展示	2月21日
加茂岩倉遺跡銅鐸	7	滋賀県立安土城考古博物館	特別展示	2月24日
上野1号墳ほか	28	松江市教育委員会	書籍掲載	2月28日
史跡出雲国府跡	3	松江市教育委員会	報告書掲載	3月1日
檀原遺跡1号炉	1	出雲市	パンフレット掲載	3月7日
専光寺脇遺跡	10	益田市教育委員会	パンフレット掲載	3月7日
西川津遺跡土壙	1	（株）新泉社	書籍掲載	3月8日
堤平遺跡出土遺物	6	松江市教育委員会	書籍掲載	3月30日
姫原西遺跡舟形木製品	1	荒神谷博物館	特別展示	4月15日
山持遺跡6区SB01ほか	3	株式会社ジャパン通信情報センター	書籍掲載	4月20日
荒神谷遺跡銅剣・銅矛・銅鐸	1	斐川町	広報誌掲載	掲載許可
社日古墳加工段2基壇検出状況ほか	13	松江市教育委員会	書籍掲載	5月25日
野広遺跡集石2及び建物群ほか	3	株式会社ジャパン通信情報センター	書籍掲載	5月26日
勝負遺跡に残る地震の痕跡	2	出雲弥生の森博物館	ギャラリー展示	6月3日
塩津山4号墳第2主体	1	荒神谷博物館	特別展示	6月6日
大楨鉦跡地下構造ほか	11	古代出雲歴史博物館	企画展示	6月14日
西川津遺跡人面付土器ほか	2	出雲弥生の森博物館	特別展示	6月20日
青木遺跡出土絵馬	2	因幡万葉歴史館	企画展示	6月28日
タテチョウ遺跡人形木製品ほか	4	出雲弥生の森博物館	ギャラリー展示	6月28日
下古志遺跡遺構写真	3	株式会社ジャパン通信情報センター	書籍掲載	7月8日
荒神谷遺跡全景ほか	43	（株）同成社	書籍掲載	7月8日
山持遺跡2号板絵	1	出雲弥生の森博物館	ギャラリー展示	7月10日
島田池遺跡ほか	16	八雲立つ風土記の丘	企画展示	8月16日
かわらけ谷横穴墓大刀	1	朝来市教育委員会	特別展示	8月23日

資料名	点数	貸出先等	使用目的	貸出期間
加茂岩倉遺跡銅鐸出土状況	3	㈱山陰放送	テレビ放映	8月30日
西川津遺跡骨角器ほか	12	鳥取県埋蔵文化財センター	資料集掲載	掲載許可
荒神谷遺跡銅剣出土状況ほか	3	㈱一校舎	雑誌掲載	9月15日
下山遺跡屈折像土偶	1	福島市教育委員会	特別展示	9月15日
荒神谷遺跡銅剣・銅矛	1	㈱山陰中央新報社	新聞掲載	9月28日
三田谷Ⅰ遺跡土偶	1	凸版印刷株式会社	VR作品上映等	9月28日
下山遺跡屈折像土偶復元品ほか	2	㈱郷土出版社	書籍掲載	9月28日
西川津遺跡石器	1	國學院大学伝統文化リサーチセンター資料館	特別展示	10月3日
サルガ鼻洞窟遺跡図版ほか	9	松江市教育委員会	書籍掲載	10月5日
荒神谷遺跡発掘調査風景	1	㈱山陰中央新報社	書籍掲載	10月5日
荒神谷遺跡銅鐸・銅矛・銅剣	1	㈱一校舎	雑誌掲載	10月6日
神原神社古墳三角縁神獣鏡	1	(有)オフィス朔	書籍掲載	掲載許可
荒神谷遺跡銅剣出土状況	1	㈱帝国書院	学習教材	11月24日
上野1号墳鏡ほか	5	㈱平凡社	雑誌掲載	11月25日
下山遺跡屈折像土偶と復元品	1	島根日日新聞社	新聞掲載	12月13日
荒神谷遺跡銅剣出土状況	1	㈱洋泉社	書籍掲載	12月13日
荒神谷遺跡銅剣出土状況	1	㈱童夢	書籍掲載	12月19日
原田遺跡角錐状石器ほか	4	岡山県立博物館	交流展示	12月22日
荒神谷遺跡銅剣出土状況	1	個人	書籍掲載	1月4日
原田遺跡6区配石遺構群全景ほか	29	郷土出版社	書籍掲載	1月10日

(3) 資料貸出(※平成23年1月4日から平成23年12月28日までに申請があったもの)
所蔵する資料を有効に活用するために、外部からの依頼に応じて貸出を行っている。

資料名	点数	貸出先等	使用目的	貸出期間
白石大谷Ⅰ遺跡装飾壺ほか	5	古代出雲歴史博物館	特集展示ワークショップ	1月28日～31日
青木遺跡木簡ほか	6	古代出雲歴史博物館	企画展示	2月4日～6月16日
塚山古墳埴輪ほか	5	古代出雲歴史博物館	復元及び複製品制作	3月1日～平成24年3月31日
上野1号墳鱗付円筒埴輪ほか	15	但馬国府・国分寺館	特別展示	3月4日～5月24日
史跡出雲国府跡漆紙文書ほか	29	八雲立つ風土記の丘	速報展示	3月22日～5月17日
五反配遺跡鞘形木製品ほか	13	荒神谷博物館	常設展示	4月1日～平成24年3月31日
大東高校グラウンド遺跡玉類ほか	43	松江市立出雲玉作資料館	常設展示	4月1日～平成24年3月31日
今佐屋山遺跡出土砂鉄ほか	2	和鋼博物館	常設展示	4月1日～平成24年3月31日
団原古墳土器ほか	613	八雲立つ風土記の丘	常設展示	4月1日～平成24年3月31日
原田遺跡石器ほか	1552	古代出雲歴史博物館	常設展示	4月1日～平成24年3月31日
板屋Ⅲ遺跡土器ほか	21	三瓶自然館	常設展示	4月1日～平成24年3月31日
前立山遺跡土器ほか	233	吉賀町水源館	常設展示	4月1日～平成24年3月31日
古志本郷遺跡土器ほか	271	出雲弥生の森博物館	常設展示	4月1日～平成24年3月31日
史跡石見銀山遺跡 石銀藤田地区「土壁」復元模型	1	石見銀山世界遺産センター	常設展示	4月1日～平成24年3月31日
堂床遺跡玉類ほか	52	九州国立博物館	交流展示	4月15日～平成24年4月30日
山持遺跡舟形木製品ほか	9	荒神谷博物館	特別展示	4月22日～9月9日
山持遺跡板絵	1	古代出雲歴史博物館	複製品制作	5月12日～平成24年3月31日
縄文土器セットほか	8	古代出雲歴史博物館	ガイドダンス	6月3日～6月6日
獅子谷遺跡羽口ほか	9	古代出雲歴史博物館	企画展示	6月14日～平成24年1月13日
三田谷Ⅰ遺跡土製品ほか	2	出雲弥生の森博物館	特別展示	6月20日～9月30日
西川津遺跡壺形木製容器	1	古代出雲歴史博物館	常設展示	6月23日～12月28日
中野清水遺跡土製支脚ほか	2	出雲弥生の森博物館	ギャラリー展示	7月10日～9月29日
西川津遺跡石包丁ほか	71	八雲立つ風土記の丘	ミニ企画展示	7月11日～9月9日
建物復元模型	2	鉄の歴史博物館	特別展示	7月11日～8月31日
島田池遺跡須恵器ほか	23	八雲立つ風土記の丘	企画展示	8月16日～11月25日
高浜Ⅰ遺跡将棋盤ほか	3	出雲弥生の森博物館	イベント展示	8月25日～8月20日
原田遺跡土器ほか	144	吉野ヶ里公園	特別企画展示	9月24日～12月10日
史跡出雲国府跡筋砥石	3	玉作資料館	企画展示	9月30日～11月17日
北原本郷遺跡縄文土器	4	古代文化センター職員	資料復元	10月6日～30日
米坂古墳群備前焼ほか	3	古代出雲歴史博物館	特集展示	12月9日～平成24年3月7日
原田遺跡石器ほか	414	岡山県立博物館	交流展示	12月22日～平成24年3月16日

職員への貸出 51件

(4) その他

所蔵する機材や物品の貸出に応じている。

資料名(点数)	貸出先	使用目的	貸出期間
写真パネル(3)	古代出雲歴史博物館	ミニ展示	11月4日～12月28日
プロジェクター	島根考古学会	講演会	6月17日～6月20日
火起こし道具(10)	安田小学校PTA		8月5日～8月8日
金属探知機等	國學院大學	共同学術調査	9月1日～9月10日
プロジェクター	島根考古学会	例会	12月16日～12月19日

(5) 施設利用

月日	内 容	使 用 者
7月30日	研修室利用	出雲古代史研究会
7月15日	FTIR	(財)松江市教育文化振興事業団
7月15日	減圧機	(財)松江市教育文化振興事業団
8月2日	蛍光X線分析	出雲市文化財課
9月16日	蛍光X線分析	(財)松江市教育文化振興事業団

(6) 埋蔵文化財調査センターホームページ閲覧数

当センターの事業内容や現地説明会、講演会、発掘だよりなどの情報を多くの人々に公開し、埋蔵文化財に対する興味と理解を高めることを目的に、ホームページを運用している。

2011年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
	1,250	1,318	1,363	1,627	1,411	1,467	1,470	1,431	1,456	1,320	1,480	1,294	16,887

Ⅲ 研修・調査指導事業

1. 研 究

考古資料基礎調査研究・テーマ研究（古代文化センター事業）

項 目	細 目	担 当 者
青銅器調査	埋納地調査、同範他調査	大庭 俊次
墓制調査	金山古墳調査、東淵寺古墳調査、 廟所古墳他報告書作成	丹羽野 裕、宮本 正保、勝部 智明、 神柱 靖彦、稲田 陽介
生産遺跡調査	在地陶磁器集成	丹羽野 裕、熱田 貴保、東山 信治
テーマ研究	木製品から見る古代の暮らし	中川 寧、深田 浩
テーマ研究	縄文時代における山陰地域社会の展開	是田 敦、深田 浩
テーマ研究	日本海沿岸における潟湖の景観と生業 に関する研究	原田 敏照
テーマ研究	前方後方墳と東西出雲の成立に関する 研究	丹羽野 裕、池淵 俊一

2. 埋蔵文化財基礎研修

埋蔵文化財調査未経験者または初心者を対象とした基礎的な研修。

今年度は応募がなかったため、当センターの当該職員のみを対象として実施した。

3. 埋蔵文化財専門研修

埋蔵文化財担当者全般を対象とした専門的な研修

第1回 平成23年5月23日 場 所：埋蔵文化財調査センター研修室

テーマ：発掘調査報告書作成課程

「報告書作成概説」丹羽野裕（鳥根県埋蔵文化財調査センター）

「出雲市中村1号墳発掘調査報告書」坂本豊治（出雲市教育委員会）

「米坂遺跡ほか発掘調査報告書」伊藤徳広（古代出雲歴史博物館）

第2回 平成23年9月15日 場 所：埋蔵文化財調査センター研修室

テーマ：中世陶磁器調査課程

「中世陶磁器概説Ⅰ」廣江耕史（鳥根県教育庁文化財課）

「中世陶磁器概説Ⅱ」守岡正司（鳥根県教育庁文化財課）

「遺物の総合検討」

第3回 平成23年9月12日 場 所：史跡出雲国府跡・八雲立つ風土記の丘展示学習館

テーマ：官衙・寺院調査課程

「寺院・官衙の発掘調査方法」大橋泰夫（鳥根大学法文学部）

「史跡出雲国府跡の調査成果と課題」稲田陽介（鳥根県埋蔵文化財調査センター）

「発掘調査現場（史跡出雲国府跡）における討議」

第4回 平成23年12月20日

テーマ：弥生時代の大陸系磨製石器

「大陸系磨製石器について」下條信行

「西川津遺跡の発掘調査」原田敏照（鳥根県埋蔵文化財調査センター）

第5回 平成24年2月10日

テーマ：近世陶磁器調査課程

「島根県における近世陶磁器概説」西尾克己（島根県古代文化センター）

「近世陶磁器の見方」阿部賢治（島根県埋蔵文化財調査センター）

「遺物の総合検討」

第6回 平成24年3月9日

テーマ：退職専門職員による講義

「須恵器の生産」内田律雄（島根県埋蔵文化財調査センター）

「文化財行政を振り返る」川原和人（島根県埋蔵文化財調査センター）

4. 市町村調査指導（※平成23年1月4日～12月28日までに実施したもの）

考古資料基礎調査研究・テーマ研究（古代文化センター事業）

月 日	依 頼 者	遺跡名など	内 容	派遣者
4月9日	益田市教育委員会	杉迫窯跡	調査方法等	丹羽野 裕
8月8日	出雲市教育委員会	鰐淵寺	調査方法等	鳥谷 芳雄
11月9日	江津市教育委員会	文化財保護審議会	土床坂の取り扱いについて他	川原 和人

Ⅳ 会 議 参 加

当センターが加盟している全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会の総会、中国・四国・九州ブロック会議及び研修会に参加した。

- (1) 総会 今年度は欠席
- (2) 中国・四国・九州ブロック会議 平成23年9月1日～2日 大分市大分センチュリーホテル
- (3) 研修会 平成23年11月17日～18日 岡山県倉敷市 ホテル日航倉敷

V 発掘調査事業

受託事業

平成23年度は6事業9遺跡の本発掘調査を行った。事業の内訳は、国直轄事業の一般国道9号(朝山大田道路)改築事業、一般国道9号(仁摩温泉津道路)改築事業、中国横断道路松江尾道線新設工事、県事業の国道431号(東林木バイパス)改築事業、国道432号(大庭バイパス)改築事業、県道松江島根線道路事業など、いずれも道路建設に伴うものである。

調査成果としては、大田市仁摩町に所在する庵寺古墳群では、古墳時代前期から中期にかけての古墳群が調査され、箱式石棺や箱形木棺など多様な埋葬施設が検出されるとともに、弥生時代後期の集落遺跡が調査されている。同じく大田市久手町の市井深田遺跡では7～8世紀を中心とする集落跡が検出された。このうち多数の住居址で造り付けの竈を備えている点が注目される。

山間部の調査では中国横断道路松江尾道線新設工事に伴う雲南市粟目Ⅰ遺跡の調査において、県内では数少ない古代の製鉄炉が調査された。また当遺跡に隣接する粟目Ⅱ遺跡では古墳時代中期の集落が調査され、ほとんど農業生産基盤が見込めない山間部小谷に立地する遺跡の存在基盤が注目される。松江市西川津遺跡(県道松江島根線道路)では、弥生時代前期及び後期の河道・溝が調査され、弥生時代前期の河道からは多数の木製品が出土するとともに、貯木場らしき遺構も検出されている。

なお、当センターではこのほかに、朝山・大田道路や松江尾道線、大庭バイパスなどの道路事業と大橋川改修事業に伴う試掘確認調査を国庫補助事業として実施している。

学術調査

松江市の史跡出雲国府跡(風土記の丘地内遺跡調査)及び東淵寺古墳(地域間交渉調査(墓制調査))で調査を実施した。史跡出雲国府跡では、国司館の区画の可能性のある溝を確認した。また、東淵寺古墳の調査では、墳形が前方後円形又は前方後方形であることが判明するとともに、多数の円筒埴輪や須恵器子持壺が出土した。

分布調査

今年度は2月末から3月上旬にかけて、一般国道9号(静間仁摩道路)改築事業予定地内の分布調査を実施した。



1. 一般国道9号(朝山大田道路)改築工事に伴う発掘調査

事業概要 この調査は、国土交通省から委託を受けて平成22年度より実施している。今年度は大田市所在の市井深田遺跡、門遺跡、高原遺跡の発掘調査を実施した。



市井深田遺跡、高原遺跡、門遺跡の位置

市井深田遺跡

本遺跡は大田市久手町刺鹿に所在する。日本海から直線距離で1.9km離れた標高20～35mの北西に面した丘陵に立地する。北側には22年度に発掘調査を実施した中尾H遺跡が隣接する。

現地調査期間は平成23年5月30日～12月1日、調査面積は4,050㎡、調査員2名、調査補助員1名の体制で発掘調査を実施した。

調査では7世紀後半～9世紀初頭の集落跡と河川跡を検出した。主な遺構は建物跡で、掘立柱建物15棟、竪穴建物10棟を検出した。このうち竪穴建物4棟では壁際に造り付けの竈を検出した。これらの竈は煙道がトンネル状のものと溝状のものがある。

主な遺物は土師器の甕や甑で、他に土師器の土製支脚、移動式竈、須恵器の坏、蓋、甕が出土した。鉄器や鉄滓は出土しなかった。

まとめ 市井深田遺跡は大田市ではじめて確認された古代の大規模な集落遺跡で、大田市の古代史を研究するうえで貴重な発見となった。

また7世紀～9世紀の島根県では、海岸部には掘立柱建物が多く、山間部には竪穴建物が多く分布し、造り付けの竈は山間部では多く確認されているが、海岸部ではこれまで2基しか確認されていない。しかし、本遺跡は海岸部に立地する遺跡であるのに、山間部に多い竪穴建物や造り付けの竈が混在する珍しい遺跡で、海岸部と山間部の交流を考える上で大変貴重な成果となった。

(是田 敦)



市井深田遺跡全景



造り付け竈を伴う竪穴建物

門遺跡

本遺跡は日本海側に流れ出る江谷川の支流、市井川が形成する標高 10 m ほどの谷部にあり、市井深田遺跡とは東側に 200 m ほどの距離を置く。

現地調査は現在の水田区画に沿い、5 m 方眼のメッシュを組んで実施した。期間は平成 23 年 9 月 22 日～11 月 21 日、調査面積は 856m²、調査員 2 名、調査補助員 1 名で行った。

遺構は認められなかったが、北寄りの山裾から旧河道の中央部にかけて、多くの遺物が出土した。遺物は土器類をはじめ、石器類（磨石・石鏃）、木製品類（曲物・用途不明品）、金属製品（銭貨）、動物遺存体（馬歯）がある。土器類は、縄文土器（後期）、弥生土器（後期）、土師器・須恵器（古墳中期・後期～奈良・平安時代）、陶磁器（室町・江戸時代）である。出土量は奈良・平安時代のものが多かった。

ま と め 本発掘調査では、縄文時代から江戸時代まで、長期間にわたる遺物が出土した。昨年度調査した隣接の中尾H遺跡と、時代・性格ともによく似た遺跡であり、考古学的情報が少なかった当地域にとって、貴重な資料が得られたものと思われる。（鳥谷芳雄）

高原遺跡

本遺跡は大田市波根町上川内に所在し、日本海側に流れる波根川およびその小支流によって形成される標高 11 m ほどの谷部にある。長さ 60 m、幅 5.5 m ほどの細長い調査区であり、調査期間は平成 23 年 9 月 1 日～28 日、調査面積は 420m²、調査員 2 名、調査補助員 1 名が当たった。

遺構は認められなかったが、狭い範囲の割には多くの遺物が出土した。大半は旧河川の河道もしくは氾濫原とみられる部分からの出土である。遺物は、土器類（甕・壺・高杯・鼓形器台・低脚杯・赤色塗彩土器）、石器類（磨石・石斧・砥石・石鏃・剥片）、木製品（木簡・用途不明加工品・燃えさし）などがあった。土器類は縄文、弥生、古墳、奈良、平安、室町、江戸時代であり、かなりの幅がある。出土量は古墳時代前期のものが多かった。

ま と め 本発掘調査では、古墳時代前期の遺物が比較的まとまって出土したが、当地ではこの時代の調査がこれまであまり行われておらず、貴重な考古資料が得られたものと思われる。（鳥谷 芳雄）



門遺跡調査終了状況



高原遺跡調査終了状況

2. 一般国道9号(仁摩温泉津道路)改築工事に伴う発掘調査

調査概要 この調査は国土交通省から委託を受けて実施しており、平成17年度より実施して以来7年目となる。今年度は、平成20年度以来となる庵寺古墳群の調査を行った。



庵寺古墳群位置図(1/25,000 仁万)

庵寺古墳群

本遺跡は大田市仁摩町大國に所在し、潮川左岸(河口から約2.2km上流)の標高60～70mの丘陵尾根上に立地する。本年度は尾根上の古墳群(1区)と、尾根の南側丘陵斜面部(2区)について調査を実施した。

現地調査期間は平成23年6月6日～12月27日、調査面積は3,607㎡、調査体制は調査員2名と調査補助員2名である。

遺構の概要 1区では、最終的に15基の古墳が確認された(5～19号墳)。墳丘の流出等により、すべての古墳の規模や構造、築造時期が明らかではないが、様子がわかるものについては、概ね5m～10mの方形墳であり、時期も周溝から検出された土器などから、前期を主体とした時期に築造されたと考えられる。主体部については、埋葬施設が箱式石棺(5・15・13・14・16・18号墳)と組み合わせ式木棺(7・8・9号墳)を採用するものに分けられ、9号墳からは壺棺も検出された。また、8号・9号墳の主体部上層からは人頭大の礫も検出されており、埋葬後に礫を標石として配置した可能性も考えられる。副葬品は、5号・13号・15号墳から刀子、8号墳から鎌・ヤリガンナ・鉄鏃、9号墳から鉄剣など各種の鉄器が出土した。また5号・15号墳からはガラス小玉が、17号墳からは滑石製白玉が出土している。

一方、2区は急峻な斜面であるにもかかわらず、弥生時代中期末～後期前葉の竪穴住居跡2棟と加工段を12棟検出した。

まとめ 1区では平成20年度の調査(3基確認)と併せ、尾根上に前期を主体とする多数の古墳が立地することが確認できた。その埋葬施設も石棺や木棺、壺棺など多様性に富んでいることも注目される。特に石見部ではこれだけの規模の前期古墳が調査された例は他に無く、これまで実態が不明瞭であった石東地域における古墳時代前期の様相を解明する上で貴重な調査となった。また2区で検出された建物群は、その立地状況から高地性集落と考えられ、当該期の集落の様相を検討する上で貴重な資料となった。

(深田 浩)



1区古墳群遠景



5号墳 箱式石棺

3. 中国横断道路松江尾道線新設工事に伴う発掘調査

調査概要 この調査は、国土交通省から委託を受けて今年度実施した。標記工事に伴う残土処理場建設予定地内の調査で、粟目Ⅰ遺跡、粟目Ⅱ遺跡の2カ所について5月31日から9月28日まで調査員4名、調査補助員1名の体制で実施した。調査面積は、粟目Ⅰ遺跡が800㎡、粟目Ⅱ遺跡が600㎡である。



遺跡位置図 (1/25,000 出雲吉田)

(1) 粟目Ⅰ遺跡

本遺跡は、雲南市吉田町吉田に所在し、広島県境にほど近い中国山地の谷間に位置する。標

高450mを越える山地に挟まれた、北に開く狭隘な谷の小規模な平坦面に立地し、標高は約400mである。同じ谷の南側約300mには、弥生時代後期～古墳時代後期の集落が確認された粟目Ⅱ遺跡が存在する。

遺構の概要 製鉄炉（地下構造）2、竪穴住居1、加工段1などを確認した。製鉄炉2基はいずれも遺跡の南部、西側斜面寄りに設けられ、地面を舟底状に掘りくぼめて粉状の木炭を充填した本床状構造のみをもつ。長軸はほぼ南北方向にとり、等高線に平行している。切り合い関係から2号炉→1号炉の順に築かれ、2号炉を埋め戻して整地した後、南側の隣接地に1号炉が築成されている。

1号炉地下構造は長さ4.3m、幅0.7m、深さ0.4mである。地下構造南側で検出された浅い落ち込みは1号炉作業時の炭置場の可能性がある。炉の西側（斜面上方）を削平して小規模な平坦面を造り出し、そこに炉を築成している。また炉の北側に近接して、粘土を敷いた作業面が設けられる。作業面には、強く被熱した箇所が複数箇所存在し、鍛冶炉が存在した可能性がある。2号炉地下構造は1号炉より若干規模が小さく、長さ3.9m、幅0.7m、深さ0.3mで、1号炉と同様に平坦面の造成、作業面の設置が行われている。

竪穴住居は、製鉄遺構の東側にある排滓場の下層で検出した。平面形は3.6m×3.8mの方形で、出土した須恵器から、6世紀末～7世紀初頭を下限とする時期と見られる。また、遺跡北部からは、加工段、溝状遺構、柱穴と見られるピットなどが検出されている。

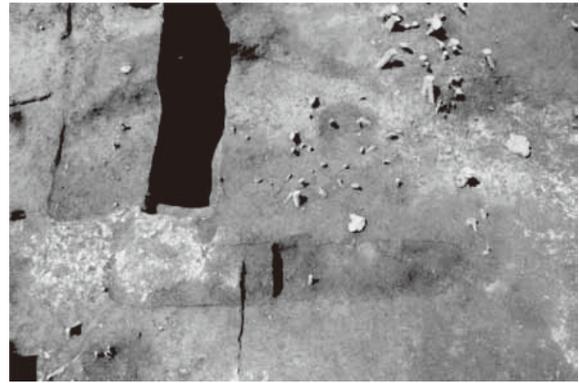
遺物の概要 遺跡南部では、製鉄遺構及びその東側にある排滓場から多量の鉄滓・炉壁が出土した。排滓場からは、須恵器、土師器の小片も確認した。竪穴住居の埋土中からも須恵器が出土している。

加工段などを検出した遺跡北側では、包含層中から古墳時代後期～奈良時代と見られる須恵器杯・高杯、土師器甕、甌が出土している。また、ここからは4方向に把手が付く土師器の甕が出土しており、注目される。このほか製塩土器も認められた。

まとめ 製鉄炉の時期は、排滓場出土の土器、地下構造の規模などから古墳時代終末～奈良時代と推定される。島根県内における古代以前の製鉄炉は報告例が少なく、これに新たな資料を加える発見となった。また、『出雲国風土記』飯石郡条の「飯石小川…鉄あり」の記載との関連も含め、出雲地方山間部における製鉄の歴史を考える上でも貴重な資料を提供した。 (宮本 正保)



1号炉（地下構造）



2号炉（地下構造）

(2) 粟目Ⅱ遺跡

本遺跡は、粟目Ⅰ遺跡と同じ谷の緩斜面上に位置している。

遺構の概要 竪穴住居跡7棟、ピット群、溝跡などの遺構が検出された。

建物跡は弥生時代後期から古墳時代後期のもので、その他の柱穴も大部分が同時期の遺構と考えられる。竪穴住居跡は弥生時代後期の7号建物跡と8号建物跡は床面が円形であったが、その他の古墳時代中期から後期の住居跡は床面が方形であった。このうち6号建物跡は最大のもので、5.4 m × 4 mの方形で、出土遺物から古墳時代中期末から後期初頭の住居跡と考えられる。床面の一角に径30cmのピットがあり、炉跡の可能性はある。

1号建物跡と2号建物跡は出土遺物から古墳時代中期の遺構と考えられる。ともに床面が方形で、壁面沿いに溝がめぐっており、床面中央に板状の石が出土している。1号建物跡は5.1 m × 4.1 mで、2号建物跡は4.6 m × 3.5 mであった。7号建物跡と8号建物跡は弥生時代後期の床面が円形の竪穴住居である。7号建物跡は直径が4.8 m、8号建物跡は3.2 mであった。ともに床面の中央には土坑が検出されており、7号建物跡には斜面の山側に排水用の溝が伴っている。

遺物の概要 竪穴住居跡を中心に、弥生土器や土師器、須恵器、鉄器が出土している。また、4号建物跡からは用途不明の異型土製品が2点出土している。

まとめ これまで遺跡の周辺地域では古代の集落跡の調査例はなく、今回の調査が初めての調査例となり、貴重な資料を追加することとなった。斐伊川・神戸川上流域の山間部では、弥生・古墳時代の住居跡の調査例がまとまっており、これらの成果との比較等も今後の課題となろう。

(神柱 靖彦)



2号建物跡



6号・7号建物跡

4. 松江島根線道路事業に伴う発掘調査

調査概要 この調査は、県土木部より依頼を受けて実施しており、平成19年度より開始して以来5年目となる。今年度は松江市西川津町地内の西川津遺跡（鶴場地区：A-2区）について、調査員1名、調査補助員2名の体制で調査を実施した。

西川津遺跡（鶴場地区：A-2区）

遺跡は朝酌川流域に広がる縄文時代～近世までの大規模なもので、これまでに河川改修によって数次にわたる調査が行われ、大量の出土遺物と共に重要な発見が得られている。本年度は朝酌川の西側の宅地跡部分について平成23年6月21日～平成23年12月9日まで実施した。調査面積は280㎡である。

遺構の概要 現地表下1.5mの標高2m付近で幅2m・深さ1m程の大形の溝（SD10）を1条、幅1.3m程の小形の溝を1条、土坑2基、柱穴50基程を検出している。溝はいずれも弥生時代前期のものであり、そのうち大型の溝（SD10）は一昨年度のA-1区の調査で発見された溝と繋がり、総延長30m以上となった。柱穴や土坑も出土遺物は少ないが弥生時代前期と推測される。

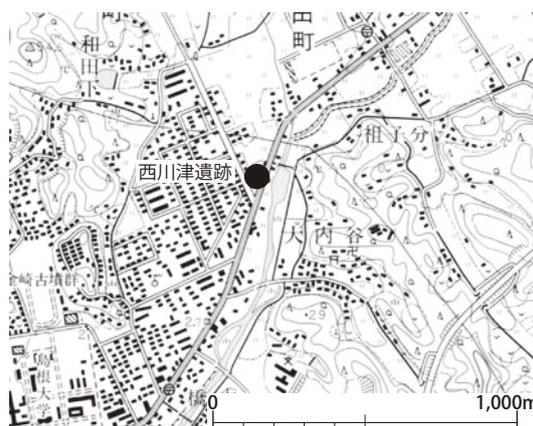
また、調査区の西側ではSD10と並行して南北方向に走る自然河道を検出している。自然河道は東岸のみを検出しており全容は不明だが、規模は幅6m以上、深さ1.5m以上である。自然河道は堆積状況から弥生時代前期には流路として存在し、前期のうちに湿地化し中期には完全に埋没していると推測される。

遺物の概要 自然河道の埋土からは大量の弥生土器や石器のほかに、鍬・泥除け・斧柄等の木製農工具が多く出土している。木製農工具のほとんどは未製品であることから付近で木器製作を行っている可能性が高い。その他に漆容器として使われた前期の壺や中期の分銅形土製品が出土している。

まとめ 今回の調査によって、大形の溝がさらに北側に連続することが確認され、自然河道の存在から調査地点周辺が集落の西端にあたる可能性が考えられた。

これまでの鶴場地区の調査によって微高地の存在が明らかとなり、そこに集落に伴う大型の溝（弥生時代前期3条・後期1条）が存在し、さらには弥生時代前期には木器製作を行っていたことが明らかとなった。

（原田 敏照）



西川津遺跡位置図



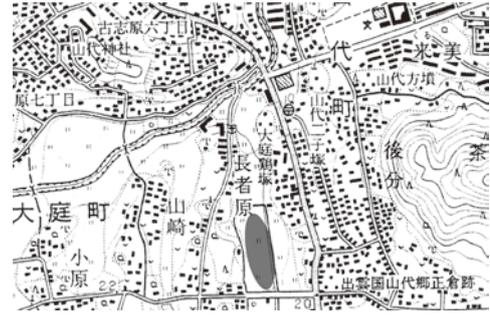
弥生時代前期の杭列（自然河道内）



調査区全景（左：河道・右：SD10）

5. 国道 432 号道路改築事業（大庭バイパス）に伴う発掘調査

調査概要 この調査は県土木部より依頼を受けて実施した。対象遺跡は柳堀（やなぎぼり）遺跡である。現地調査期間は平成 23 年 10 月 20 日～12 月 21 日、調査面積は約 600㎡、調査員 2 名、調査補助員 1 名の体制で実施した。



柳堀遺跡位置図

柳堀遺跡

柳堀遺跡は、松江市大庭町に所在し、国道 432 号線と県道八重垣神社竹矢線が交わる大庭十字路の北西側約 100 m の水田下に位置する。調査は A から E の五つの調査区を設定して行い、溝、性格不明遺構、杭列を確認した。基本層序は、上から I 耕作土・表土、II 褐灰色泥層、III 暗褐色泥層、IV 黄橙色泥層（地山）であり、II と III の上半には水田起源の鉱物がある。水田の存在を想定して調査を行ったが、平面・断面ともに畦畔を検出することはできなかった。

A 区では溝 3、性格不明遺構 1 を検出した。溝 SD10 は、北西－南東方向に蛇行しながら伸びており、断面はコ字状である。溝の上位に細砂を含む泥層が堆積しており、弥生時代後期の土器が少量出土した。調査区の南側では性格不明遺構（SX08）を確認した。中央には細砂、両端には暗褐色泥層が堆積している。遺構の北側の肩は不明瞭である。時期は古代以前と考えられるが、遺構内から遺物が出土しなかったため時期は不明である。その他、数基のピットを確認した。

B 区では A 区に続く性格不明遺構 SX08 を確認した。また、調査区の南側で約 20 本の杭を確認した。東西方向に直線的に伸びているが、杭の間隔は不均一である。近世以前と考えられる。

このほか C 区、D 区では自然河道の可能性のある性格不明遺構、E 区では遺物包含層を確認した。

遺物は II 層、III 層から奈良・平安時代の須恵器や鎌倉～室町時代の土師器、溝 SD10 から弥生土器が出土した。遺物の総量はコンテナ約 7 箱である。

まとめ 柳堀遺跡の調査では、水田起源の鉱物を確認したこと、古代・中世の遺物が出土したが、古代・中世の水田を遺構として確認することはできなかった。A 区では自然科学分析を行っていることから、調査地付近における水田の存在をより確実にする分析結果が期待される。

（大庭 俊次・中川 寧）



柳堀遺跡 A 区完掘



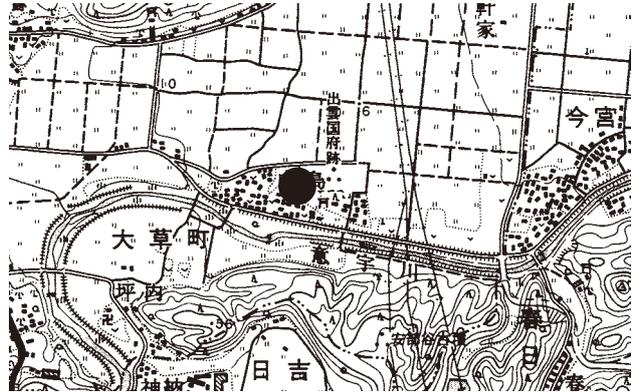
柳堀遺跡 B 区 SX08 完掘

7. 学術調査等

(1) 史跡出雲国府跡

調査概要 国庫補助事業として平成11年度から実施している。13年目となる今年度は、史跡公園として整備されている宮の後地区の西側（西調査区）と東側（東調査区）を調査した。

発掘調査は、5月23日から開始し10月20日に終了した。調査面積は西調査区が約175㎡、東調査区が約125㎡で、調査員1名、調査補助員1名の体制で実施した。



史跡出雲国府跡の位置 (S=1/25,000 松江)

遺構の概要 これまでの調査で、宮の後地区は、整地土を挟んで二面の遺構面があることが判明している。西調査区は、整地土が削平されていたため、整地土下面でのみ遺構を検出した。主な検出遺構は、溝跡2条（74号溝、75号溝）、井戸1基（56号土坑）、土坑6基などがある。溝跡は、幅1.5mの南北溝で、深さは20cm程度と浅い。溝の南端は、74号溝は西へ、75号溝は東側へそれぞれ折れ曲がっており、排水用もしくは建物の区画溝であったと思われる。56号土坑は、直径4m以上の円形を呈し、遺構の中央から湧水が認められることから、井戸と推測される。最下層には板状の木片が見つかった。これらの遺構は、出土遺物から9世紀以降の所産と思われ、本来は整地土上面から掘り込まれたものと推定される。

東調査区は、整地土上面と下面の二面で遺構を検出した。上面の遺構は溝跡1条（76号溝）、土坑1基（64号土坑）、性格不明遺構1基（SX06）などがある。性格不明遺構は、幅6mで調査区を南北に縦断している。内部に大型の礫や砂を多量に含み、道路などの地業の痕跡と推測される。下面は、上面の遺構の保護のため一部しか調査を行っていない。下面で検出されたのは、溝跡2条（73号溝、78号溝）である。このうち73号溝は、以前の調査でも検出された南北方向の溝で、国司館の東を画する溝とされている。

遺物の概要 出土遺物は、須恵器・土師器・瓦・玉類などが出土した。

まとめ 本年度調査では、多数の溝跡や、道路の可能性のある遺構（SX06）の検出など、国司館の景観を復元する上で大きな成果が得られた。 (稲田 陽介)



74号溝



SX06

(2) 考古資料基礎調査研究（墓制調査事業）

調査概要 この調査は、島根県古代文化センターと島根県埋蔵文化財調査センターが共同で実施している基礎研究「考古資料基礎調査研究」のうち、墓制調査の一環として実施したもので、本年度は東淵寺古墳を対象として発掘調査を行った。

発掘調査は、11月8日から開始し11月30日に終了した。調査面積は約74㎡で、埋蔵文化財調査センターの職員を中心に、古代文化センターの職員の協力を得て実施した。



東淵寺古墳の位置 (S=1/25,000 松江)

遺構の概要 東淵寺古墳は、松江市大庭町に所在し、全長62m前後の前方後円墳とされてきた。今回の発掘調査は、古墳の墳形及び規模の確認を目的とし、墳丘西側の後円部付近（トレンチ1）とくびれ部付近（トレンチ2）に調査区を設定した。トレンチ1の墳丘側では、表土の直下に墳丘盛土を検出した。盛土は褐色土系と黄色土系の土が互層状に盛られ、最下部には旧表土を確認している。墳裾付近では、盛土が約1.5mの幅で水平に堆積しており、段築の可能性はある。なお葺石は、盛土や周溝内にこぶし大の礫が数点認められたのみで、確実な葺石は確認できなかった。トレンチ西側では、上場幅約8.6m、下場幅約6.5mの周溝を検出した。溝底面のレベルは、西側18.3m、東側18.5mで、おおむねフラットに整形されている。

トレンチ2の墳丘側では、北へ延びる盛土が検出され、前方部の存在が確実となった。トレンチ2の西側では、トレンチ1で検出した周溝の続きを確認した。周溝上場の幅は9.6m、下場の幅7.4mである。溝底面のレベルは、東側（墳丘側）が18.6m、西側が18.54mとほぼ水平であった。また、くびれ部の墳裾は、僅かに北西側へ折れ曲がって検出されている。

遺物の概要 出土遺物は、埴輪・須恵器・鉄製品・陶磁器などが出土した。

まとめ 今回の調査で注目されるのは、僅かではあるが墳裾が北西側へ折れ曲がって検出された点である。調査区が狭く明確には言えないが、一見すると前方後方墳の墳裾にも見える。今回の調査区では明らかにし得なかったため、今後追加の調査が必要と思われる。（稲田 陽介）



トレンチ1(墳丘側より)



トレンチ2(墳丘側より)

(3) 保存処理

遺跡から発掘された遺物の多くが、木製品は水浸けパック、金属製品が酸化防止システムでのパックという状態で「仮保管」されている。「仮保管」では遺物の劣化が進みやすく、展示などの活用が制限されてしまうため、これらの問題を解消するために年間を通して継続的に保存処理作業を進めている。

水浸け木製品は、遺物の状態によってポリエチレングリコール（PEG）と糖アルコールでの保存処理を使い分けている。自然乾燥してしまった木製品はアクリル樹脂を塗布、又は含浸することで強化し遺物の形状を維持する。金属製品はクリーニング、脱塩、アクリル樹脂の減圧含浸による防錆・強化を行っている。処理後の遺物は温湿度管理で保管している。上記以外の材質の遺物も、脆弱なものに対して随時、処置を施す。

赤外線観察・X線撮影に関しては、センターの調査現場、報告書作成、保存処理での活用の他に、市町村教育委員会を対象に撮影日を設けている。

平成 23 年度 作業実績

西川津遺跡で出土した漆塗櫛、編物を硬質発泡ウレタンで取り上げた。平成 24 年度に古代出雲歴史博物館で開催される企画展に向けて、大田市川向遺跡の木製品の保存処理を行っている。平成 22 年度途中から保存処理作業の体制に変更があり、平成 23 年度の保存処理量が減少した。

また、古代文化センターに設置されていた蛍光X線分析装置が埋蔵文化財調査センターに移設された。これを使って、青木遺跡出土赤彩装飾壺、分銅型土製品、山持遺跡出土赤色顔料付着遺物、庵寺古墳群出土赤色顔料、石見銀山で表採された鉍石、出雲市中村 1 号墳出土品、松江城下町遺跡出土品などについて、報告書作成や展示資料についての更なる情報を得るなどのために分析を行った。

(澤田 正明・柴崎 晶子)

(4) 試掘確認調査・分布調査

今年度の試掘確認調査は、国庫補助事業により実施した。実施箇所は一般国道 9 号（朝山・大田道路）、一般国道 9 号（多伎・朝山道路）、中国横断道路松江尾道線、国道 432 号（大庭バイパス）改築事業、大橋川改修事業の各事業予定地内で、実施期間は平成 23 年 4 月から 12 月にかけて断続的に実施した。

また、平成 24 年 2 月～3 月にかけて、大田市石見銀山課の協力を得て分布調査を実施した。今年度対象としたのは、一般国道 9 号静間仁摩道路の工事用道路予定地内である。

(池淵 俊一)

Ⅵ 県内発掘調査一覧

市町村など（*平成22年12月29日～平成23年12月28日に通知のあったもの）

番号	対 象 遺 跡			発 掘 通 知 書			調査の目的 ・契機等
	種 別	名 称	所 在 地	発 掘 担 当 者	発掘面積(m ²)	発掘予定 期 間	
1	その他の 遺跡	津和野城下 町遺跡	鹿足郡津和野町 鷲原口 52	津和野町教育委員会 中井將胤	2	230125- 230131	農業基盤整 備事業
2	古墳	廻原1号墳	松江市朝酌町 1166	島根大学 岩本 崇	37	230219- 230330	学術研究 (内容確認調 査)
3	散布地	板津焼山遺 跡	出雲市湖陵町板津 717番地外103筆	出雲市 石原 聡	1,000	230111- 230228	土地区画整 理
4	集落跡	中須東原遺 跡	益田市中須町72-1・2、 88～92、94、95-2、96、96-1・2、 97、98、107-2、108、109、113、 114、119～121、125、131、132、 137、139	益田市教育委員会 長澤和幸	1,900	230221- 230930	土地区画整 理
5	社寺跡	宮本鍛冶山 内遺跡	出雲市多伎町奥田儀 419番地	出雲市 曾田辰雄	30	230214- 230318	保存目的の 範囲内容確 認調査
6	城館跡	松江城	松江市殿町1番地 5、1番地34	松江市教育委員会 徳永 隆	11 (最大25)	230222- 230311	その他開発 (電柱新設)
7	散布地	聖谷奥Ⅰ遺 跡	出雲市多伎町小田 小田国有林1030林班	出雲市 遠藤正樹	250	230221- 230331	道路 (林道宮本聖 谷線)
8	その他の 遺跡(街道 跡)	山陰道Ⅱ	松江市宍道町伊志見410、 420-1、421-1・4～7、409-2、 411-1・3、419-1、439-1・3	松江市教育委員会 川上昭一	18	230302- 230304	集合住宅
9	その他の 遺跡	松江城下町 遺跡(母衣町 180-28、180-29)	松江市母衣町 (180-28、180-29)	松江市教育委員会 中尾秀信	216	230302- 230428	道路 (城山北公園 線街路事業)
10	社寺跡	出雲国分寺 跡	松江市竹矢町369-4	松江市教育委員会 石川 崇	43	230308- 230325	道路 (八重垣神社 竹矢線)
11	生産遺跡	杉迫窯跡	益田市津田町口1069 番1、1070番1、1427番1	益田市教育委員会 山本浩之	2	230407- 230430	保存目的の 範囲内容確 認調査
12	散布地	聖谷奥Ⅰ遺 跡	出雲市多伎町奥田儀 小田国有林1030林班	出雲市 景山真二	250	230411- 230624	道路 (林道宮本聖 谷線)
13	散布地	王子坂遺跡	松江市上乃木五丁目 483	松江市教育委員会 廣濱貴子	672	230418- 231209	その他の建 物(病院)
14	集落跡	後廻遺跡	松江市上乃木三丁目 607-1	松江市教育委員会 落合昭久	650	230418- 230621	集合住宅
15	古墳	堀部古墳群	松江市鹿島町北講武 885-1	松江市教育委員会 赤澤秀則	10	230421- 230426	その他開発 (災害復旧工 事)
16	社寺跡	出雲大社境 内遺跡	出雲市大社町杵築東 195	出雲市 曾田辰雄	120	230510- 240331	その他開発 (防災施設 整備)
17	社寺跡	鰐淵寺	出雲市別所町148番地	出雲市 石原 聡	93	230512- 230930	保存目的の 範囲内容確 認調査

番号	対 象 遺 跡			発 掘 通 知 書			調査の目的 ・契機等
	種 別	名 称	所 在 地	発 掘 担 当 者	発掘面積(m ²)	発掘予定 期 間	
18	その他の遺跡	松江城下町遺跡(母衣町68番地)	松江市母衣町68番地	松江市教育委員会 徳永 隆	14	230528- 230603	その他の建物(裁判所庁舎)
19	その他の遺跡	松江城下町遺跡(母衣町180-28、180-29)	松江市母衣町(180-28、180-29)	松江市教育委員会 中尾秀信	216	230302- 230531	道路 (城山北公園線街路事業)
20	社寺跡	出雲国分寺跡	松江市竹矢町526番、526番2、527番、529番3、609番2、610番2	松江市教育委員会 江川幸子	480	230418- 230729	道路 (八重垣神社竹矢線)
21	集落跡	石見銀山遺跡	大田市大森町ニ3-1番地	大田市教育委員会 中田健一	250	230412- 230630	個人住宅兼工場又は店舗
22	官衙跡	出雲国府跡	松江市大草町504-1、505-1	松江市教育委員会 川上昭一	22	230530- 230614	個人住宅
23	その他の遺跡	浜田三次往還	邑智郡邑南町日和3254番地16	邑南町教育委員会 佐々木義彦	899	230615- 230830	道路
24	集落跡	スモト遺跡	松江市古曾志町864番1、865番1	松江市教育委員会 園山 薫	196	230601- 230831	個人住宅
25	その他の遺跡	赤塚台場跡	出雲市大社町杵築西字山内1648-2番地ほか	出雲市 岸 道三	300	230601- 231031	道路 (北荒木赤塚線)
26	その他の遺跡	津和野城下町遺跡(後田口1-12他)	鹿足郡津和野町後田字片河口1-12他	津和野町教育委員会 中井將胤	4	230701- 230729	個人住宅
27	その他の遺跡	琴引山神社境内地	飯石郡飯南町佐見1134-2	國學院大學 内川隆志	50	230831- 230910	学術研究 (学術発掘調査)
28	生産遺跡	鱒越炭窯跡	邑智郡邑南町市木5729番地88地内	邑南町教育委員会 角矢永嗣	39	230801- 230831	その他開発 (森林基幹道(林道))
29	その他の遺跡	松江城下町遺跡(母衣町45外)	松江市母衣町45、45-4	松江市教育委員会 廣濱貴子	109	230728- 230930	道路 (城山北公園線都市計画街路事業)
30	その他の遺跡	室原山3号遺跡	邑智郡邑南町日和3254番地13	邑南町教育委員会 佐々木義彦	600	230801- 230830	道路
31	その他の遺跡	久見高丸地点	隠岐郡隠岐の島町久見高丸851-1	隠岐の島町教育委員会 竹広文明	20	230916- 231021	学術研究 (黒曜石原産地遺跡の調査)
32	散布地 集落跡 官衙跡	郡垣遺跡	雲南市大東町仁和寺1585-1、1586-2、1597-2	雲南市教育委員会 山崎 修	261	230920- 231225	保存目的の 範囲内容確認調査
33	集落跡	龍光遺跡	益田市美都町仙道801-1	益田市教育委員会 大野芳典	234	230928- 231005	集合住宅
34	散布地 社寺跡	神門寺付近遺跡	出雲市塩冶町835番地4ほか	出雲市 須賀照隆	2,000	231011- 240331	道路 (医大前新町線)
35	城館跡	益田氏城館跡	益田氏三宅町口1225、1228-2	益田市教育委員会 松本美樹	480	231017- 231227	保存目的の 範囲内容確認調査

番号	対 象 遺 跡			発 掘 通 知 書			調査の目的 ・契機等
	種 別	名 称	所 在 地	発 掘 担 当 者	発掘面積(m ²)	発掘予定期間	
36	その他の遺跡	松江城下町遺跡(殿町198番2外)	松江市殿町198-2、198-4、198-5、198-8、198-10、199-5	松江市教育委員会 園山 薫	300	230901-240327	道路 (城山北公園線都市計画街路事業)
37	その他の遺跡	松江城下町遺跡(南田町136-13外)	松江市南田町134-9、134-12、136-11、136-12、136-13、137-16	松江市教育委員会 小山泰生	496	231017-240731	道路 (城山北公園線都市計画街路事業)
38	その他の遺跡	松江城下町遺跡(母衣町100外)	松江市母衣町100、101-1、101、102、103-2、103-1、103、104、104-1、105-8、105-2、105-1	松江市教育委員会 川上昭一	12	231104-230117	集合住宅
39	その他の遺跡	松江城下町遺跡(母衣町100外)	松江市母衣町100、101-1、101、102、103-2、103-1、103、104、104-1、105-8、105-2、105-1	松江市教育委員会 中尾秀信	531	231107-240229	集合住宅
40	その他の遺跡	松江城下町遺跡(母衣町68番)	松江市母衣町 68 番	松江市教育委員会 落合昭久	2,584	231116-241130	その他の建物(裁判所庁舎)
41	集落跡	輪之内遺跡	邑智郡邑南町下口羽485番地1ほか	邑南町教育委員会 佐々木義彦	400	231205-231228	その他の建物(保育所)
42	城館跡	高瀬山城跡	雲南市三刀屋町多久和1055-1外	雲南市教育委員会 坂本論司	199	231205-231220	その他開発(林道取り付け)

県 (*平成22年12月29日～平成23年12月28日に通知のあったもの)

番号	対 象 遺 跡			発 掘 通 知 書			調査の目的 ・契機等
	種 別	名 称	所 在 地	発 掘 担 当 者	発掘面積(m ²)	発掘予定期間	
1	官衙跡	出雲国府跡	松江市大草町509-1外	稲田陽介	685	230516-231130	保存目的の範囲内容確認調査
2	その他の遺跡	粟目Ⅰ遺跡	雲南市吉田町吉田2314-2、2318-1、4398-2	宮本正保	120	230509-230527	道路 (中国横断道路松江尾道線)
3	集落跡	粟目Ⅱ遺跡	雲南市吉田町吉田4398-4、4398-5	宮本正保	80	230420-230506	道路 (中国横断道路松江尾道線)
4	集落跡	市井深田遺跡	大田市久手町鹿刺市井深田123-4他	是田 敦	4,460	230530-231228	道路 一般国道9号(朝山大田道路)
5	集落跡	荒槇遺跡	大田市久手町	是田 敦	100	230523-230527	道路 一般国道9号(朝山大田道路)
6	古墳	庵寺古墳群	大田市仁摩町大国3150-2他	深田 浩	4,500	230530-231228	道路 一般国道9号(仁摩温泉津道路)
7	集落跡	福志原遺跡	出雲市多伎町多岐118-6他	鳥谷芳雄	1,600	230506-230520	道路 一般国道9号(多伎朝山道路)
8	古墳	金山古墳	益田市久城町742、743	丹羽野裕	100	230510-23530	学術研究

番号	対 象 遺 跡			発 掘 通 知 書			調査の目的 ・契機等
	種 別	名 称	所 在 地	発掘担当者	発掘面積(m ²)	発掘予定 期 間	
9	散布地	下澤遺跡	出雲市矢尾町 504	熱田貴保	900	230518- 231130	道路(国道431号 東林木バイパス)
10	集落跡	西川津遺跡 (A-2区)	松江市西川津町字鶴 場624-13,624-14,624-16	原田敏照	400	230620 240113	道路(主要地方道 松江島根線)
11	その他の 遺跡	粟目Ⅰ遺跡	雲南市吉田町吉田 2314-2,2318-1,4398-2	宮本正保	1,500	230531 230930	道路(中国横断道 路松江尾道線)
12	集落跡	粟目Ⅱ遺跡	雲南市吉田町吉田 4398-4, 4398-5	神柱靖彦	800	230531 230930	道路(中国横断道 路松江尾道線)
13	集落跡	上谷遺跡	大田市朝山町朝倉 902-1 他	鳥谷芳雄	200	230601 230610	道路(一般国道9号 多伎朝山道路)
14	集落跡	丸尾Ⅰ遺跡	大田市朝山町仙山 125-1 他	鳥谷芳雄	120	230613- 230622	道路(一般国道9号 多伎朝山道路)
15	集落跡	鈴見B遺跡	大田市久手町波根西 鈴見 1157-1 他	鳥谷芳雄	300	230627 230729	道路(一般国道9号 朝山大田道路)
16	集落跡	塚之尾谷遺 跡	出雲市多伎町口田儀 999 他	鳥谷芳雄	60	230805 230812	道路(一般国道9号 多伎朝山道路)
17	古墳	岩山後遺跡	大田市久手町波根西 2490-5 他	鳥谷芳雄	20	230824- 230830	道路(一般国道9号 朝山大田道路)
18	集落跡	門遺跡	大田市久手町刺鹿 2010 他	鳥谷芳雄	1,200	231003- 231228	道路 (一般国道9号 朝山大田道路)
19	集落跡	高原遺跡	大田市波根町上川内 458 他	鳥谷芳雄	420	230901- 230930	道路(一般国道9号 朝山大田道路)
20	集落跡	鈴見C遺跡	大田市久手町波根西 2505 他	鳥谷芳雄	40	230816- 230823	道路(一般国道9号 朝山大田道路)
21	集落跡	鈴見上ヶB 遺跡	大田市久手町波根西 1180-4 ほか	伊藤 智	100	230905 230930	道路(一般国道9号 朝山大田道路)
22	古墳	東淵寺古墳	松江市大庭町 714 外	稲田陽介	100	231003- 231130	学術研究(考古資 料基礎調査研究)
23	その他の 遺跡	官道下遺跡	松江市矢田町地先	伊藤 智	120	231020- 231228	河川(大橋川改修 事業)
24	散布地	柳堀遺跡	松江市大庭町 737-1 ほか	中川 寧	1,950	231017 231227	道路(国道432号 大庭バイパス)
25	古墳生産 遺跡	城ヶ谷遺跡	大田市久手町涼見 3006-10 他	是田 敦	60	231205- 231216	道路(一般国道9号 朝山大田道路)
26	散布地	高原遺跡	大田市波根町上川内 362 他	鳥谷芳雄	200	231201 231220	道路(一般国道9号 朝山大田道路)
27	生産遺跡	丸尾Ⅰ遺跡	大田市朝山町仙山 字高日 1243 ほか	伊藤 智	30	231214- 231221	道路(一般国道9号 朝山大田道路)

Ⅶ 刊 行 物

1. 埋蔵文化財調査センター年報 19

平成 23 年 3 月刊行。発行部数 403 部

2. ドキ土器まいぶん（島根県の埋蔵文化財情報誌）

名 称	発 行 月	部 数	内 容
ドキ土器まいぶん No.52	平成 23 年 7 月	6,000	特集：地震の考古学 発掘調査ガイド：室原山 2 号遺跡、松江城下町遺跡、鰐淵寺和多坊跡
ドキ土器まいぶん No.53	平成 24 年 1 月	6,000	特集：新発見！とっとりしまね発掘速報展、活用事業報告、まいぶん出土遺物カードなど

3. 発掘調査報告書

報 告 書 名	部数	編集担当者	遺 跡 の 概 要
下古志遺跡（第 3 次調査）一般 県道多伎江南出雲線建設に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告書	245	中川 寧 大庭俊次	出雲市下古志遺跡の調査では、弥生時代中期から古墳時代前期の溝、土坑、掘立柱建物、奈良・平安時代の土坑、鎌倉・室町・戦国時代の掘立柱建物や井戸、土坑、墓などを確認した。弥生時代後期の掘立柱建物には布掘建物がある。弥生時代後期から古墳時代前期の溝には幅が約 6m あるものがある。下古志遺跡の弥生時代後期における居住域の広がりには 200～300 m の範囲であることを想定した。
国道 431 号道路改築事業（東林木バイパス）に伴う埋蔵文化財 発掘調査報告書 10 山持遺跡 Vol.8（6・7 区）	252	東山信治 伊藤 智 中川 寧	山持遺跡は弥生時代後期末頃の集落跡で、掘立柱建物跡や溝・流路跡などの遺構を検出した。掘立柱建物跡には、布掘建物で、柱の下に礎盤を伴うものもあった。朝鮮半島系の土器など、非在地系の遺物も出土している。
一般国道 9 号（直地防災工事） 改修工事に伴う埋蔵文化財発掘 調査報告書 野広遺跡	248	神柱靖彦	野広遺跡では中世の建物跡や溝跡などが検出された。遺構の周辺からは 15 世紀を中心とした時期の遺物が検出されている。遺物には輸入陶磁器や茶器、防長系の瓦質土器などが含まれ注目される。

4. 発掘調査だより（各事務所発行）

名 称	事 業 名	発 行 月	部数	配 布 先
意宇の森	風土記の丘地 内発掘調査	4 月、11 月	988	地元自治会
ほるるーと 9	朝山大田道路	5 月、8 月、11 月、 1 月	532	地元小中学校・地元高校・公民館・教育委員会など
石見路の言伝 （津和野版）	一般国道 9 号 直地防災工事	5 月	765	地元小中学校・自治会・公民館・教育委員会など
なきすな街道	仁摩・温泉津 道路	6 月、8 月、11 月	483	地元小中学校・地元高校・自治会・公民館・図書館・教育委員会など

島根県教育庁

埋蔵文化財調査センター年報20

発行日 2012年3月31日

編集・発行 島根県教育庁埋蔵文化財調査センター
松江市打出町33番地

Tel. 0852-36-8608

ホームページ <http://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/>

Eメール maibun@pref.shimane.lg.jp

印刷 (有) 松本印刷

本文はR100再生紙を利用しています。